

2019年9月 旅行取扱高状況報告

< 旅行区分別 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	41,341,478	42,190,676	98.0%
国内旅行	5,622,304	5,534,098	101.6%
外国人旅行	3,215,802	3,634,416	88.5%
合 計	50,179,585	51,359,192	97.7%

上記、月次取扱高は、エイチ・アイ・エス及び同グループ6社（オリオンツアー、クオリタ、クルーズプラネット、ジャパンホリデートラベル、ミキ・ツーリスト）の社内取引を相殺した取扱高の合計となります。

1. 海外旅行

海外旅行は、香港・韓国の弱さが続いているものの、台湾を中心に代替となる方面を強化した結果、全体では底堅く推移いたしました。方面別では、引き続き好調のシンガポールが前年同月比 123%、台湾が同 107%、グアムが同 126%、スペイン・ポルトガルが同 116%と増加いたしました。商品別では、エアー＋ホテルが同 142%と大きく伸長しており、各方面、各チャネルにおいて前年を超える結果となりました。

以上の結果、海外旅行の総取扱高は、前年同月比 98.0%の 413 億 4,147 万円となりました。

< 海外旅行 方面別・商品別・チャネル別データ >

① 方面別

方 面	前年同月比
アジア	93.7%
オセアニア・南太平洋	94.9%
ハワイ・ミクロネシア	106.6%
欧州・中近東・アフリカ	103.9%
北米・中南米	101.8%

② 商品別

商 品	前年同月比
手配旅行	91.8%
企画旅行	108.2%

③ チャネル別

チャネル	前年同月比
店舗	96.6%
オンライン	113.4%

2. 国内旅行

国内旅行では、全体では台風など自然災害の影響がみられたものの、昨年からの需要の回復と限定商品の展開などにより、北海道が好調に推移いたしました。

以上の結果、国内旅行の総取扱高は、前年同月比 101.6%の 56 億 2,230 万円となりました。

3. 外国人旅行

外国人旅行では、引き続き欧米からの受客は増加したものの、東アジアからの受客において単価の減少がみられたことにより、外国人旅行の総取扱高は、前年同月比 88.5%の 32 億 1,580 万円となりました。

以上の結果、2019 年 9 月の旅行取扱高の総計は、前年同月比 97.7%の 501 億 7,958 万円となりました。

以 上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス

I R室：03-6388-0707

広報室：03-5908-2346